2017-B

VI58B

拠出金・基金
の名称

日米教育交流プログラム拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】日米教育委員会(JUSEC)

【所管官庁担当局課・室名】文部科学省大臣官房国際課国際協力企画室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development:ESD)に関する日米教員交流プログラムの必要経費

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	19,464			円建て	0
平成28年度	41,546			円建て	0
平成27年度	41,546			円建て	0

【当該任意拠出金等の意義, 成果等に関する我が国としての評価】

日米教育交流計画(日本におけるフルブライト交流計画)は, 1949年から1979年まで全額米国経費負担により行われてきたが, 1978年の福田・カーター会談において, 経費を両国折半にすることが合意された。日米教育委員会は, 1979年の「教育交流計画に関する日本国政府と米国合衆国政府との間の協定」に基づき, 日米教育交流計画を実施するために設立された。

日米教育委員会は, 設立以来, 日米の学生, 研究者等の交流促進に寄与している。同委員会は, 日米同数の委員が対等な立場で議論することにより重要事項を決定している。我が国の拠出金による事業は我が国政府の承認を得なければ事業を実施できないこととなっており, 日本政府の意見は十分に反映されていると評価できる。

【備考】